

# 2016スマイルフェスタ in いなべ

主に、いなべ市内で活動するボランティア団体の活動紹介および交流会を開催します。  
また、企業の社会貢献活動の紹介も行い、幅広い交流を行います。

**と き** 6月18日(土) 12:30~16:00

舞台演奏と活動紹介

**6月19日(日) 10:00~15:00**

市民活動団体・ボランティア団体の活動紹介、  
企業の社会貢献活動紹介

**ところ** 北勢市民会館 さくらホール

\*19日(日)は、市民会館駐車場において、  
あじさい祭り(いなべ市商工会主催)が  
開催されます。



## かわいい猫の写真展 開催します

応募いただいた猫の写真を展示  
し、人気投票を行います。ぜひ、お  
気に入り投票してください!

## オリンピックイヤー 特別企画!

いなべ市にも400人近い  
ブラジルの方が住んでいます。  
交流できる機会です。

- ブラジル展(ブラジルの歴史や日本とのつながりを紹介します)
- オリンピック出場予定の日本選手の紹介コーナー
- サンバの踊り、登場します!

# いなべ市 市民活動センターだより

～市民が主役、市民がつくる“いなべのまち!”～

URL <http://e-katsu.city.inabe.mie.jp/>

第31号

平成28年6月

(発行・編集)

いなべ市民クラブ

〒511-0205

員弁町笠田新田73番地1

☎74-5806

☎74-5834

## 腹話術劇団 はたいも

～笑いが心や体を元気にする～



### Q 活動を始めた頃のお話を聞かせてください

平成元年ころ、児童センターの子ども教室で、手品、手あそび、人形劇の講師をしていた仲間と活動を始めました。「腹話術劇団はたいも」という名前は、「地域の中で愛される劇団に」という願いと、親芋に子芋、孫芋がいっぱいできることから仲間やファンを増やそうとそんな願いを込めました。しかし、なかなか集まることができない状況の中で、少人数でも継続の思いで活動を続けています。

### Q どんな想いで活動されていますか?

笑いは、心と体を元気にします。笑いは、人とひととの垣根も超えて仲良くなれます。腹話術だけでなく手品や手あそびなども交えて楽しいひと時を作ることに心がけています。



### Q やって良かったことは?



参加された方々と一緒に手遊びや歌を歌ったりできることです。会場に笑いが広がり、参加された方が、にこやかな顔で帰っていかれる時が一番うれしいです。

### Q これからしたいことは?

最近、子ども会、老人会、地域でのイベントに呼ばれることが増えてきました。ストレスの多い毎日の生活も、いつかの笑いで心が晴れることもあります。これからも、いっぱい笑いを届けていきたいと思っています。

## ここが魅力!

### 腹話術劇団 はたいも

腹話術劇団の小川時生さん、現在は放課後子ども教室ほくせいの事務局長として奮闘中、「地域の学校」を目指しているいろいろな方の協力を得ながら子ども教室を開催しています。多くの協力者が集まるのも小川さんの魅力です。これからも、たくさんの「笑い」を届けていただければと思います。

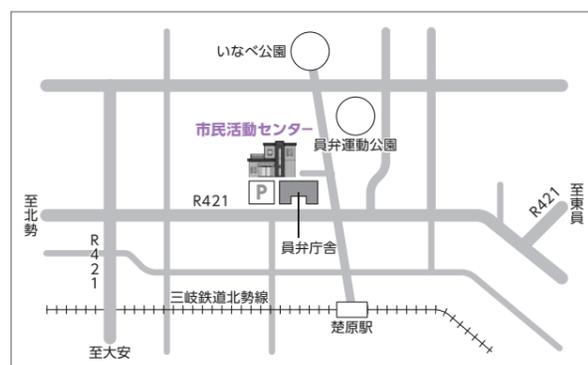


## いなべ市市民活動センター

市民活動センターは、市民活動やボランティアを始めたい方、また、すでに活動している方の相談場所です。“住みやすいまち”を実現するために、みなさんの活動をサポートします。

- ★活動したい人と仲間を求めている団体を繋ぎます
- ★会議などで使える場所を提供します
- ★情報の受発信をします
- ★印刷機が利用できます

☎74-5806 ☎74-5834



# つながれ! 広がれ! 市民活動の輪

## 教室サポーター養成講座(大人対象)

おとなのコミュニティスクール体験!

いなべコミュニティスクール(CS)は「地域の人による地域の学校」として、2002年より始めました。2012年から放課後子ども教室ほくせいも開校して、いろいろな方に講師やサポーターとして参加いただいています。子どもたちと関わる教室サポーターを募集します。

まずはどんな教室か体験してみてください。

申込締切は開催7日前です。(1回だけの参加も可)

- 第1回** 6月11日(土) 9:30~12:00  
 場所: ほくせい福祉センター 中会議室 材料費: 1,000円  
 1. アートまるごと「たまごの殻を使ってモザイクアート」(いなべ教室)  
 2. アロマテラピーレッスン「ハンドクリーム作り&ハンドマッサージ体験」(ほくせい教室)
- 第2回** 6月25日(土) 9:30~12:00  
 場所: 員弁コミュニティプラザ いなべ子ども支援センター事務局 材料費: 1,500円  
 1. カラフルキュートなフェイクスイーツ「フルーツパフェ作り」(いなべ教室)  
 2. なんじゃもんじゃ「わらいは良薬~腹話術・手品・折り紙遊び~」(ほくせい教室)
- 第3回** 7月2日(土) 9:30~12:00  
 場所: 員弁コミュニティプラザ 第2・3会議室 材料費: 1,000円  
 1. トンカチとんとん「木工ボンドを使って小箱作り」(いなべ教室)  
 2. ふわもこくらぶ「フェルトコースター作り」(ほくせい教室)



いなべ子ども活動支援センター ☎74-5775、放課後子ども教室ほくせい ☎82-1388

## 市民活動掲示板

### そういん美術クラブ

絵画・書道・工芸などの愛好家によるクラブです。小中高校生を対象に「油絵体験教室」を実施します。

- ★日時 8月6日(土)・7日(日) 9:30~11:30  
 ★場所 水谷美術ギャラリー (員弁町坂東新田80)  
 ★参加費 1,500円(材料費・額含む)  
 ★定員 5名  
 ★申込み いなべ子ども活動支援センター 事務局 74-5775  
 ☎74-2871、090-3950-1233 (そういん美術クラブ・水谷)

### 楽吹塾

スポーツ吹き矢式腹式呼吸法でカラダもココロも快調に! 肺や内臓の活性化、筋力アップとともに集中力を高めます。随時、無料体験をしていますので、吹き矢の効能を体感してみてください。



- ★練習日 毎月第1、第3木曜日  
 ★時間 13:00~16:00  
 ★場所 北勢福祉センター  
 ★会費 1,500円  
 ☎090-6593-5927 (森田)

### 在宅介護者家族の会「だいふくの会」

在宅介護者同士の交流を通じ、心身のリフレッシュを図り、情報交換、支え合う活動を始めて、今年設立10年になりました。これからももっと交流を深め、互いに支え合う輪を広げていきたい。だいふく(大安町のだ、員弁町のい、藤原のふ、北勢町のくをとって)の会で、介護保険や介護予防のことを一緒に学びませんか?

☎74-3282、090-7049-4481 (池田)

### 朗読ボランティア こもれび

「リンク」「社協だより」など市の情報誌を音読し、必要な方に届けています。

- ★活動日 第1木・土曜日  
 ★場所 北勢福祉センター  
 ☎72-5663 (川瀬)

### 北勢萩山窯クラブ

会員16名で和気あいいいと作品を作っています。土をこね、形を作り、窯から出す瞬間はわくわくしますよ。年に数回作品展も行ないます。1名でも多くの会員を募集しています。



- ★日時 第3日曜日 9:00~15:00  
 ★場所 北勢市民会館 創作室  
 ☎72-5673、090-6080-7786 (葛山)

### 絵てがみサークル いなべ百合の会

ヘタでいい、ヘタがいいが絵てがみのモットーです。心を込めて描いたハガキは喜ばれます。和気あいいいとやっています、いちど見学に来てください。

- ★日時 毎月第3金曜日 9:30~11:30  
 ★場所 員弁コミュニティプラザ  
 ☎78-0990、090-4267-0327 (伊藤)

### 阿下喜祭好会

女みこしに参加して「八幡祭」を一緒に盛り上げましょう! 年齢・経験問いません、市内外の元気な女性を募集しています。

- ★日時 7月31日(日) 15:00~22:00  
 ★場所 北勢町阿下喜(赤神・本町区)  
 ★参加費 3,000円 (衣装・飲食・クリーニング代等)  
 ☎080-5295-0417 (水元)

### 員弁郷土研究会1周年記念講演会のお知らせ

- ★演題 「員弁の歴史・よもやま話」  
 ★講師 岩野見司氏(元員弁高等学校郷土研究部 考古学者、東海大学名誉教授)  
 ★日時 8月27日(土) 13:30開演  
 ★場所 大安公民館 2階 大会議室  
 ★入場料 無料 ★主催 員弁郷土研究会  
 ★定員 80名 ★後援 大安町自治会  
 ☎46-2578 (藤岡)

## Face

東員点訳友の会 YYパソコン塾

### 出口 信明 さん



出口さんがボランティアを始めたのは、定年退職後からでした。ある日お寺の集まりで「東員点訳友の会」の会員と知り合い、視覚障がい者が普通に本を読むように点訳するボランティアがあることを知ります。このときもっと身近に寄り添えるボランティアがあることに気付いたのです。

今は「東員点訳友の会」(いなべ支部)に所属し、毎月数回の点訳作業を行っています。この作業はパソコンを使って点字を作ります。1冊の本を仕上げるために何度も校正するのは大変な作業ですが、「やりがいがある」と出口さんは言われます。

また「気軽にたずねることのできる教室が欲しい」と聞いて、平成22年から始めたパソコン教室は、現在は障がい者対象の教室も含めて4会場で開催されています。

世界の経済的に貧しい地域の自立支援をする「ワールド・ビジョン・ジャパン」のスポンサーでもある出口さん。自宅では国内のスポンサーと支援を受けている海外の子どもを繋ぐ手紙の「翻訳ボランティア」も続けてみえます。

「だれかのためじゃなく、自分のためにしているんです。そうでないと(ボランティアは)長続きしません」と淡々と話す出口さん。しかしこれらの活動で支えられている人は数知れません。